

【紫波町】
端末整備・更新計画

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
①児童生徒数	2,537	2,551	2,564	2,507	2,500
②予備機を含む整備 上限台数	2,917	2,933	2,948	2,883	2,875
③整備台数 (予備機除く)	0	0	2,564	0	0
④③のうち 基金事業によるもの	0	0	2,564	0	0
⑤累積更新率	0	0	100	100	100
⑥予備機整備台数	0	0	384		
⑦⑥のうち 基金事業によるもの	0	0	384	0	0
⑧予備機整備率	0	0	15	0	0

(整備・更新計画の考え方)

令和 8 年度中に必要台数を整備する計画です。生徒数の増減は予備機で対応します。

第 1 期に整備した端末の状況を踏まえ、故障率のほか、プログラムの微修正等一時預かりの件数を加味し、予備機の整備率は 15%とします。

(更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について)

- ・対象台数 2601 台
- ・小型家電リサイクル法に基づく認定事業者又は資源有効利用促進法に基づく製造事業者等へ処理を委託し、適正な再使用及び再資源化を図ります。
- ・端末データの消去方法 処分事業者へ委託します。
- ・スケジュール予定
 - 令和 7 年 10 月 Windows10 サポート終了に伴う拡張セキュリティ更新プログラムの導入
 - 令和 8 年 8 月 新規端末導入
 - 令和 8 年 9 月 処分事業者選定
 - 令和 9 年 3 月 使用済み端末の事業者引き渡し

【紫波町】
ネットワーク整備計画

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
十分なネットワーク速度が確保できている学校の割合	100%	100%	100%	100%	100%
アセスメントの実施有無	有				

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数

令和 6 年度に実施しましたネットワークアセスメントにおける調査の結果では、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」（文部科学省・令和 6 年 4 月）を超える学校数は 8 校、総学校数 8 校に占める割合は 100%でした。

2 ネットワークアセスメンを踏まえた改善スケジュール

令和 6 年度に全 8 校においてネットワークアセスメントを実施しました。その結果、8 校において問題・改善点なしとされております。

今後においては、LAN 内 10G 化に向けた環境整備の検討を行います。

・スケジュール（予定）

令和 7 年 2 月 ネットワークアセスメント実施

令和 7 年 10 月～ 10G 化に向けた環境整備の検証

令和 9 年 4 月 10G 化環境による運用開始

【紫波町】
校務 DX 計画

1 現状

国が公表した「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト」(文部科学省令和 5 年 11 月実施)に基づく自己点検結果では、学校現場においてクラウドサービスを十分に活用できていない状況や、ペーパーレス化が浸透していない状況が見受けられました。

当町では、令和 7 年度からは岩手県クラウド版統合型校務支援システムの利用開始を予定しており、校務の円滑化・効率化の観点から、教職員への周知や DX 化に向けた取り組みをより加速し、教育委員会及び学校全体での改善を推進していきます。

2 「校務 DX チェックリスト自己点検結果」における課題等について

取り組みが進んでいない学校の課題把握及び支援の徹底を図る。また、校務 DX を促進する観点から、以下に掲げる取り組みを進めます。

3 文書のデジタル化によるペーパーレスの促進

電子メールや汎用クラウドツールを活用し、会議資料や保護者への連絡、学校間での文書をデジタル化することで、ペーパーレスによるコスト削減や業務の効率化を図ります。

4 FAX・押印等の制度・慣行の見直し

FAX や押印等について、FAX での送付や押印を求めている関係団体、事業者を把握し、制度・慣行の見直しについて検討し、必要に応じて規則等の改正を行います。

5 校務支援システムへの名簿情報の入力

令和 7 年度から導入する岩手県クラウド版統合型校務支援システムでは、名簿情報は学齢簿のデータをインポートする等、不必要な手入力を行わない運用とします。また、情報教育アドバイザー等により、登録や入力作業のサポート等の支援をしてまいります。

6 DX に応じた校務の見直し

当町において令和 2 年度に策定した GIGA・ICT 活用計画・共通アクションプラン 4 カ年計画の進捗を踏まえ、変容した DX に対応した授業スタイルの定着による校務の効率化を目指します。

7 教育情報セキュリティポリシーの策定

教育 DX が進展する中で、令和 3 年度に当町において、「紫波町学校情報セキュリティポリシー」を策定しましたが、教育委員会及び学校に必要とされるセキュリティ対策はさらに高度化し、重要度を増していることから、令和 8 年度までに当セキュリティポリシーを改定し、GIGA スクール構想に基づいた教育環境を整備します。

【紫波町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」（令和3年1月）において示されている「個別最適な学び」と「協働的な学び」について、以下の学びの姿を目指します。それぞれの学びを一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組みます。

(1) 個別最適な学び

学習指導要領に示されているように、指導方法や指導体制の工夫改善により「個に応じた指導の充実を図ります。また、ICT環境の活用、少人数によるきめ細かな指導体制の整備を進め、「主体的・対話的で深い学び」を実現することにより、自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができる児童生徒を育成します。

(2) 協働的な学び

探究的な学習や体験活動等を通じ、児童生徒同士で、あるいは多様な他者と協働しながら、自ら問題を発見して課題を設定し、解決していく児童生徒を育成します。

2 GIGA第1期の総括

本町では令和2年度にタブレットやネットワークの整備等を行いました。これに伴い、教育委員会ではGIGA・ICT活用計画を策定し、共通アクションプラン4カ年計画に基づき、段階的な情報活用能力の習得向上を進めてきました。

また、令和5年度及び6年度の2年連続で、文部科学省リーディングDXスクール事業の指定を受け、町内全小中学校において、児童生徒の情報活用能力の育成、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を図るための授業づくり等、事例創出に取り組んできました。

端末の更新にあたり、これまで挙げられた学校での温度差やサポート体制、活用不十分であった電子黒板機能付プロジェクター等の課題を踏まえ、改善を図っていきます。

3 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の積極的活用に向けた目標

GIGA第1期で導入した電子黒板機能付プロジェクターやタブレットを引き続き活用します。また今後、本格的に導入されるデジタル教科書の活用も進めていきます。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

児童生徒が1人1台端末を活用し、児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現することで、教職員と児童生徒、または児童生徒同士がやり取りし学びあう環境が実現できる個別最適・協働的な学びの充実を図っていきます。

(3) 学びの保障に向けた目標

希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加等、実態に応じた学びの保障を行っていきます。

4. 今後の計画

上記１人１台端末の利活用方策における重点的に取り組む事項については、令和６年度から情報収集を進め、随時各学校への情報提供に取り組もみます。

また、端末の整備としては、これまでの課題やこれから解決する必要がある課題について、児童生徒の１人１台端末の利活用がなくては解決できないものであると考えられるため、今回整備する端末の更新が必要となる時期（５年後を予定）に、児童生徒の学びに空白が生まれないよう確実に更新を行います。